

平成25年5月期経営状況概要

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	支出負担行為	対予算比
8. 水道事業収益	2,339,120	191,394	379,660	16.2%	1,959,460		
1. 営業収益	2,274,380	191,096	374,593	16.5%	1,899,787		
1. 給水収益	2,248,200	190,262	372,956	16.6%	1,875,244		
2. 受託工事収益	0	0	0		0		
3. その他営業収益	26,180	834	1,637	6.3%	24,543		
2. 営業外収益	51,120	277	2,806	5.5%	48,314		
3. 特別利益	13,620	21	2,261	—	11,359		
9. 水道事業費用	2,192,218	50,434	82,300	3.8%	2,109,918	355,813	16.2%
1. 営業費用	1,823,390	50,387	82,008	4.5%	1,741,382	336,789	18.5%
1. 原水及び浄水費	357,599	20,654	33,908	9.5%	323,691	146,083	40.9%
2. 配水費	217,638	7,307	14,008	6.4%	203,630	46,042	21.2%
3. 給水費	80,109	5,803	6,967	8.7%	73,142	20,913	26.1%
4. 受託工事費	0	0	0		0	0	0.0%
5. 業務費	117,997	9,016	10,309	8.7%	107,688	98,134	83.2%
6. 総係費	138,614	7,608	16,815	12.1%	121,799	25,618	18.5%
8. 減価償却費	888,068	0	0	0.0%	888,068	0	0.0%
9. 資産減耗費	23,365	0	0	0.0%	23,365	0	0.0%
10. その他営業費用	0	0	0		0	0	0.0%
2. 営業外費用	323,255	0	0	0.0%	323,255	0	0.0%
3. 特別損失	25,573	46	292	1.1%	25,281	19,024	74.4%
4. 予備費	20,000	0	0		20,000	0	
10. 資本的収入	1,180,969	1,323	404,481	34.2%	776,488		
1. 企業債	469,000	0	0	0.0%	469,000		
2. 負担金・補償金	493,833	0	380,303	77.0%	113,530		
3. 補助金	89,078	0	0		89,078		
4. 出資金	122,076	0	21,007	17.2%	101,069		
5. 加入金	6,982	1,323	3,171	45.4%	3,811		
9. その他資本的収入	0	0	0		0		
11. 資本的支出	2,401,794	4,917	7,417	0.3%	2,394,377	665,297	27.7%
1. 建設改良費	1,805,956	4,917	7,417	0.4%	1,798,539	665,297	36.8%
1. 取水施設整備費	68,340	0	0	0.0%	68,340	4,914	7.2%
2. 浄水施設整備費	164,325	0	0	0.0%	164,325	0	0.0%
3. 配給水施設整備費	1,270,303	4,917	7,417	0.6%	1,262,886	372,066	29.3%
6. 管理施設整備費	3,150	0	0	0.0%	3,150	0	0.0%
7. 消防設備整備費	0	0	0		0	0	0.0%
8. 災害復旧費	299,838	0	0	0.0%	299,838	288,316	96.2%
2. 企業債償還金	595,838	0	0	0.0%	595,838	0	0.0%
12. たな卸し資産購入限度額	40,186	1,989	2,104	5.2%	38,082	27,910	69.5%
①有収水量	8,313,700	692,219	1,356,638	16.3%	6,957,062		
②供給単価	270.42	274.86	274.91	101.7%	△ 4.49		
③給水原価	258.40	72.79	60.45	23.4%	197.95		
人件費	262,949	16,119	32,654	12.4%	230,295		
1. 収益的収支	225,737	13,787	27,859	12.3%	197,878		
1. 職員給与費	225,737	13,787	27,859	12.3%	197,878		
2. 特別職	0	0	0		0		
2. 資本的収支	37,212	2,333	4,795	12.9%	32,417		
* 職員給与費	262,949	16,119	32,654	12.4%	230,295		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	10.0%	7.2%	7.5%				
2. 全職員	11.7%	8.5%	8.8%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	38,515,396	38,522,688	7,292	
*減価償却累計額	15,399,585	15,399,585	0	
B. 流動資産	2,400,403	2,875,313	474,909	
1. 現金預金	1,635,302	1,943,758	308,456	
2. 未収金	536,132	597,908	61,776	
3. その他	228,970	333,647	104,677	貯蔵品・前払い金等
C. 繰延勘定	0	0	0	
D. 水道事業費用	0	80,113	80,113	
1. 営業費用	0	79,836	79,836	
2. 営業外費用	0	0	0	
3. 特別損失	0	278	278	
1. 借方合計	40,915,800	41,478,114	562,315	=A+B+C+D
E. 固定負債	50,000	50,000	0	
F. 流動負債	581,379	478,445	△ 102,934	
2. 未払金	251,213	18,822	△ 232,392	
8. 資本的収入整理勘定	326,164	427,008	100,844	3. 未払消費税4. 前受金含む
9. その他流動負債	4,002	32,616	28,614	
①下水道預り金	0	8,831	8,831	
②水道料金預り金	13	188	175	
③その他	3,989	23,597	19,608	
G. 資本金	16,414,497	16,609,220	194,723	
1. 自己資本金	5,222,669	5,417,392	194,723	
2. 借入資本金	11,191,828	11,191,828	0	
H. 剰余金	8,470,338	8,579,093	108,755	
1. 資本剰余金	8,154,684	8,263,439	108,755	
2. 利益剰余金	315,655	315,655	0	
K. 水道事業収益	0	361,771	361,771	
1. 営業収益	0	356,833	356,833	
2. 営業外収益	0	2,678	2,678	
3. 特別利益	0	2,260	2,260	
2. 貸方合計	40,915,800	41,478,114	562,315	=E+F+G+H+K+減価償却累計額
a. 供給単価 (円、銭)	261.82	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	58.85	=原価算入額÷有収水量		
②シミュレーション	208.39	原価算入額に資本費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	76.70%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	79.01%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	600.97%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	406.27%	=現金預金÷流動負債		

* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成25年 5月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	908,401	1,771,056	1,715,570	1,741,078	55,486	29,978
総配水量	881,265	1,717,116	1,665,530	1,686,758	51,586	30,358
1 有効水量	746,865	1,482,405	1,468,250	1,456,003	14,155	26,402
(1)有収水量	692,219	1,356,638	1,365,300	1,369,622	△8,662	△12,984
(2)無収水量	54,646	125,767	102,950	86,381	22,817	39,386
2 無効水量	134,400	234,711	197,280	230,755	37,431	3,956
(1)漏水量	133,907	234,010	194,000	229,603	40,010	4,407
(2)その他無効水量	493	701	3,280	1,152	△2,579	△451
3 有収率	78.55	79.01	81.97	81.2	△3.0	△2.2

※当月期の最大配水量は、10日(金)に記録した【30,154m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	7	68,340	2	4,914	0	0	63,426	7
イ 浄水施設整備事業	12	164,325	0	0	0	0	164,325	0
ウ 配給水施設整備事業	88	896,041	7	28,659	1	7,417	859,965	4
エ 繰越事業	23	674,100	22	624,307	0	0	49,793	93

*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

◎毎日検査

※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 4)	石越町水系 (測定戸数: 2)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 1)
平均	0.55	0.42	0.43	0.51	0.37
最低	0.50	0.26	0.20	0.39	0.34
最高	0.68	0.64	0.65	0.68	0.39

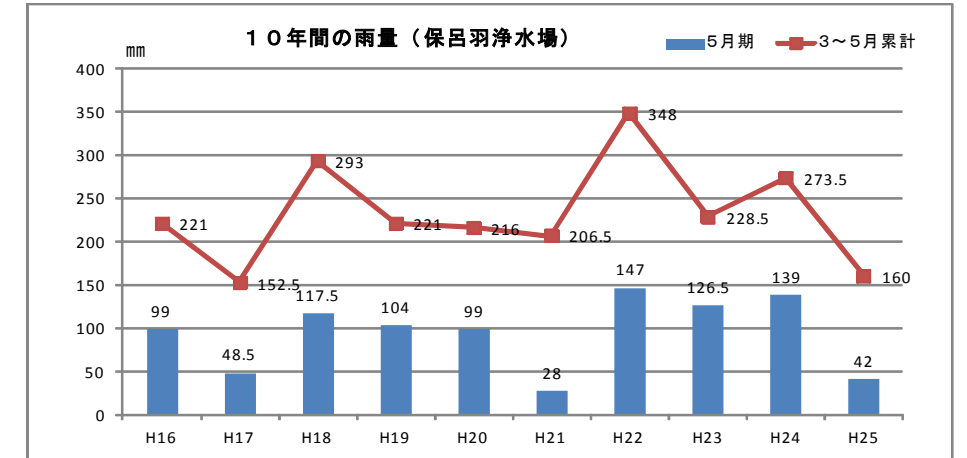
◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H25.5.24	<0.53	<0.64	錦織水系浄水場	H25.5.24	<0.7	<0.91
石越浄水場	H25.5.24	<0.77	<0.58	米谷水系浄水場	H25.5.24	<0.65	<0.75
大萱沢浄水場	H25.4.23	<0.8	<0.52	楼台浄水場	H25.5.24	<0.67	<0.81
米川水系浄水場	H25.4.23	<0.8	<0.69	—	—	—	—

特 記 事 項

1 5月の降水量が33mm

今年の5月は雨が降らない日々が続きました。昨年に比べ降水量で106mm少ない状況となりました。この影響から地下水等を水源とする浄水場に影響が出てきていますので5月上旬から水源水量の監視強化を図っています。



24年8月下旬の大萱沢取水口の砂防ダム状況



25年5月28日、大萱沢取水口の砂防ダム状況

2 迫町新田地内の倉崎増圧ポンプ場整備工事の進捗状況



本工事は、東日本大震災時の経験を受け迫町西部地区の安定給水を目指し、非常時におけるライフラインの機能確保と平常時の配水管理(水圧、水量、水質)の向上を目的として実施している工事です。

3月18日に荏原実業(株)東北営業所と契約し12月15日までの工期です。契約後は設計仕様書に基づく現地の水圧や同地区の配水環境等の調査を行うと共に最適なポンプを設置するため仕様の再検討も合わせて行っています。

現在は、旧倉崎増圧ポンプ場内の既存設備の撤去工事を行い、新設ポンプの設置に向けた工事を行っています。

3 地震発生状況

18日(土). 14時47分頃、福島県沖を震源とするM5.9(登米市震度4)の地震が発生しましたが水道施設への被害はありませんでした。

平成 25 年 5 月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D=B-C 比較
1 調定件数	件	30,256	60,445	60,001	444
2 調定水量	m ³	687,895	1,347,997	1,361,208	△ 13,211
3 調定料金	円	190,262,145	372,955,715	372,800,790	154,925
4 口振加入件数	件	25,559	50,964	51,030	△ 66

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D=B-C 比較
5 給水人口	人	83,723	—	84,619	△ 896
6 給水件数	件	30,123	—	29,901	222
7 開栓処理件数	件	249	823	730	93
8 閉栓処理件数	件	261	561	478	83
9 給水工事設計審査	件	93	186	183	3
10 給水工事竣工検査	件	79	170	149	21
11 経年メーター交換	件	264	455	474	△ 19
12 メーター口径変更	件	6	19	13	6
13 月末停止件数	件	1	112	124	△ 12

3 料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	198,790,355 円	46.71 %	196,697,182 円	47.25 %
15 過年度分	8,718,456 円	95.54 %	11,014,926 円	94.41 %
16 全 体(計)	207,508,811 円	—	207,712,108 円	—

4 給水装置工事指定業者(指定1・指定2市外(大崎・仙台市))

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	6	16	12	13	9	8	14	5	102	109	211

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	35/38	18/19	7/9	3/4	7/7	6/6	12/12	5/5	9/10	4/4	0/0	0/0
契約締結	一般										0	0
	指名	23	13	5	3	6	5	3	1	9	4	0
	随契	12	6	2	0	1	1	9	5		0	0
	合計	35	19	7	3	7	6	12	6	9	4	0

※入札中止 当月 0 件:累計 3 件/入札不調 当月 1 件:累計 0 件/入札取消 当月 0 件:累計 0 件/未契約 0 件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	3	3	
中間検査	1	0	
合計	4	3	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
平成 25 年度事務打合せ会	8 日	副市長と事務事業打合せ
第 2 回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	8 日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
第 2 回安全衛生委員会	14 日	事業実施について
平成 24 年度優良工事施工業者表彰審査会	20 日	工事内容審査
給水拠点訓練(米山支所)	21 日	給水訓練
第 2 回経営分析会議	21 日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命、その他
第 2 回事業調整会議	27 日	部長等連絡調整会議復命、行事・日程調整、その他
指名委員会	-日	第 4 回 5/10、第 5 回 5/16、第 6 回 5/27
入札会	-日	5/10、5/24
緊急メールの発出	-日	水質 3・地震(市)1・地震 2・訓練 1 計 7 回

特 記 事 項

1.5 月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

① 収益的収支

当期の給水収益は 190,262 千円で、4 月期に比べて 7,568 千円の増加となりましたが、前年同月比では 1,557 千円の増となっております。

当期の営業費用は 50,387 千円の執行で、前年同月比では、24,473 千円の減となっており、配水管等の修繕費減によるものです。

② 資本的収支

当期の収入は水道加入金 1,323 千円で、支出は 4,917 千円で、配水管工事費 1 件と人件費を執行しました。

③ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品 1,989 千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 平成 24 年度決算

平成 24 年度決算を調整し、5 月 30 日に市長へ提出しました。決算の概要は次のとおりです。

収益的収入 23 億 7,340 万円 収益的支出 20 億 5,775 万円

資本的収入 12 億 4,132 万円 資本的支出 20 億 2,529 万円

純利益 3 億 1,565 万円

(2) 第 2 回議会臨時会

改選後、最初の議会となる第 2 回臨時議会が、5 月 14 日(火)に開催されました。臨時議会では、議長、副議長の選挙、各常任委員会の委員選任が行われ、水道事業所の所管となる産業建設常任委員会の委員 8 名も選任されました。

(3) 「市民参加の新たな森林づくり、春」植樹祭に参加

「市民参加の新たな森林づくり、春」植樹祭が、5 月 26 日(日)に津山町横山字大萱沢地内で行われました。一般の参加者、横山小みどりの少年団、ボーイスカウトなど約 190 人が、事業所からは職員 3 名と給水車 1 台が参加、全員でヤマザクラなど 840 本を植樹しました。植樹後は、給水車の水を提供、みんなで昼食のおにぎりをいただきました。当日は好天にめぐまれたせいか給水車の水を何度もおかわりする児童もいました。

水道事業所では、毎年 6 月の水道週間にあわせて、みどりの森林づくり事業を実施しておりますが、今年は 6 月 3 日(月)に登米中の生徒の皆さんの参加で、植樹を実施します。



給水袋の使い方も説明しました



おいしい水を提供しました

(4) 事業所内 5 月期の災害訓練を実施

事業所内 5 月期の訓練を 5 月 30 日(木)に実施しました。今月は災害時における非常配備体制の万全を期するため、職員等の配置や役割分担、連絡方法等の確認を行いました。さらに、その徹底と再確認のため、同日夜に通告なしでの情報伝達訓練を実施、計画どおりに終了しました。

